

報道機関各位

青森県健康福祉部保健衛生課長

放射性物質に汚染した稲わらを給与した可能性のある
牛の肉の流通調査について（7月27日判明分）

福島県、宮城県から出荷された放射性物質に汚染した稲わらを給与した可能性のある牛の肉の流通状況調査を実施していたところ、当該牛肉が本県に流通していたことが判明しました。

また、流通先に保管されていた牛肉（個体識別番号：12451-36288、02074-42191）の放射性物質検査の結果、**食品衛生法の暫定規制値以下**であることが確認されました。

と畜日	個体識別番号	出荷先と畜場	重量	販売先	販売量等	検査結果 (Bq/kg)			食品衛生法の判定
						放射性ヨウ素	放射性セシウム		
						ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	
6/22	12451-36288	東京都立芝浦と場	17.3kg	藤崎町 食肉販売業	9.1kg 販売済 8.2kg 保管	検出されず	94	120	適合
6/22	02074-42191	東京都立芝浦と場	15.2kg		全量保管	検出されず	220	250	適合
6/22	12508-93121	東京都立芝浦と場	15.8kg	黒石市 飲食店営業	全量販売済	—	—	—	—
6/20	03686-17636	仙台市ミートプラント	16.9kg	八戸市 食品小売業	8.6kg 販売済 8.3kg 廃棄済	—	—	—	—
食品衛生法の暫定規制値						なし	500		

【参考】人体への影響の試算（食品安全委員会 HP より抜粋）

500Bq/kg の放射性セシウムが検出された牛肉を1kg 食べた場合の人体への影響は、 $500 \times 1.6 \times 0.00001 = \mathbf{0.008mSv}$ となります。

0.008mSv の人体への影響は、今回の原子力発電所事故による影響を除いた、自然放射性物質の摂取による年間実効線量（日本平均0.4 mSv 程度）の約50分の1です。

報道機関用提供資料 発表No. 23-号外	
担当課・担当者	保健衛生課 食品衛生グループ 担当者 新谷総括主幹
電話番号	内線 6274/6275 直通 017-734-9214
報道監	健康福祉部 藤岡次長（内線 6203）